

大阪府医師確保計画及び外来医療計画の策定に関する実態調査について (案)

1. 調査のねらい

都道府県においては、国が示す医師偏在指標、外来医師偏在指標等を基に医師確保計画及び外来医療計画を策定し、医師確保、外来医療にかかる施策を進めることとされています。医師確保については、国による目標医師数、必要医師数が全国の医師偏在を解消させることを目的に算出されており、大阪府における医療の実態や課題（高齢化による医療需要の増加、医師の働き方改革による影響及び医師の年齢構成の変化による医療の質の確保等）を反映したものではありません。

また、外来医療についても、国からは計画策定の検討に必要なデータが十分に提供されていません。

そこで、府内医療機関及び医師のみなさまを対象にした実態調査を行い、医療需要や医師の勤務実態、外来医療提供体制の状況等を把握することで、次期計画策定のための基礎資料として活用させていただきたいと考えています。

ご多忙の折に恐縮ですが、本府における医師確保策、外来医療提供体制の推進に必要なデータになりますので、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。

2. 調査対象

○医療機関

病院：約 500 施設（悉皆）、有床診療所：約 200 施設（悉皆）、
無床診療所：1,000 施設（※）

※二次医療圏別の診療所数及び診療科目の割合を参考に、府内約 9,000 施設から抽出

○医師個人

病 院：約 17,000 人（所属する全医師）
診療所：約 1,200 人（1 診療所あたり 1 名（院長を想定））

3. 調査の内容

○調査項目

前回の調査項目を基に、必要医師数の分析、勤務実態把握、医師確保策の検討に必要な項目を設定

○調査項目数

医療機関：58 問、医師個人：40 問（大項目）

※詳細については、別紙調査項目参照

4. 調査方法 ※調査票の送付、回収等については業務委託により実施

○周知方法

府内医療機関あてにアンケート調査票（医療機関用、医師用）等を郵送

○回答方法

大阪府行政オンラインシステム（直接入力または回答記入済の様式をアップロード）
または郵送

5. 調査の期間

令和 5 年 7 月中旬～ 8 月中旬ごろ

医療機関向け調査項目(案)

令和5年6月29日
第1回大阪府医療対策協議会 資料3

必要医師数の分析、医師の勤務状況や医療機関における医師確保策、外来医療の実態把握等を目的に調査項目を設定

項目数：58問（前回60問）

前回調査からの主な変更点：新たに総合診療部門・感染症対応に関する項目・外来患者の対応への負担等を追加、重複する項目等を削除

	調査項目	調査内容	目的 A:必要医師数分析 B:勤務実態把握 C:医師確保策の検討 D:外来医療計画の検討
1	基本情報（問1～5）	施設名、所在地、医療機能等	A・D
2	従事医師数等（問6～7）	常勤・非常勤、初期研修医、後期研修医、年代、性別、非常勤医師の主たる勤務先	A・B・D
3	医師の勤務体制（問10～13）	日勤体制、夜間及び休日体制、当直体制（各科当直・全科当直）、当直医師数	A・B
4	医師の勤務環境（問15～19）	月時間外勤務80h以上の医師の有無、時間外管理方法、医師確保・定着に向けた取組み	A・B・C
5	育児休暇の取得状況等（問20～21）	育児休暇取得状況、復帰後の勤務形態等	B・C
6	院内保育所の利用状況等（問22～28）	院内保育所、託児所の設置及び利用状況、その他女性医師支援の取組み、医師の業務負担軽減に向けた取組み等	B・C
7	今後の医師確保の見通し（問29～30）	医師確保が困難となる診療科、後継者の検討状況	A・B・C・D
8	産科の医療提供体制（問31～37）	医療機能（病床数）、分娩数、医療体制（診療科別医師数）、業務軽減に向けた取組み等	A・B・C
9	小児科の医療提供体制（問38～41）	医療機能（病床数、診療内容）、業務軽減に向けた取組み等	
10	救急科の医療提供体制（問42～46）	医療機能（救急指定）、医療体制（救急科医師の割合）、業務軽減に向けた取組み等	
11	総合診療部門の医療提供体制（問47）	病院の医療機能（診療内容）、医療体制（担当医師の属性）	B・C
12	感染症対応（問48）	医療体制（担当医師の所属診療科、常勤・非常勤、医師確保の取組み等）	B・C
13	登録医師の情報（別葉）	診療科別、男女別、年代別、常勤・非常勤別	A
14	外来医療提供体制（問8～9、14、別葉）	外来の受付体制、外来患者の待ち時間、外来対応への負担、外来患者数	D
15	医療機器の設置状況等（問49～53）	医療機器設置状況、医療機器の共同利用の状況、画像検査依頼等	D
16	在宅医療の実施状況（問54～58）	在宅医療の実施状況、グループ診療体制の状況	D

医師向け調査項目(案)

必要医師数の分析、医師個人の勤務実態把握、勤務環境改善に関して希望する支援内容等を把握することを目的に調査項目を設定
 項目数：40問（前回42問）
 前回調査からの主な変更点：継続して把握する必要がないと思われる質問項目を削除

	調査項目	調査内容	目的 A:必要医師数分析 B:勤務実態把握 C:医師確保策の検討 D:外来医療計画の検討
1	基本情報 (問1～7)	年齢、性別、勤務地、勤務形態、業務の種別、主たる診療科、専門医の取得状況	A・D
2	勤務先情報 (問8～10)	主たる勤務先の医療機能、病院規模等	A・D
3	医師の勤務時間 (問11～12)	6月の労働時間、宿日直、オンコール、直近1週間の勤務時間等	A・B
4	医師の宿日直 (問13～20)	宿日直の勤務の実態、業務従事割合 (外来・入院・診療外)	A・B・C
5	医師の年次休暇等 (問21～22)	休日日数、年次休暇の取得状況	B・C
6	産前産後、育児休暇 (問23～28)	産休・育休の取得状況、復帰後の勤務形態等	B・C
7	保育所の利用 (問29～34)	保育所・託児所の利用状況等	B・C
8	医師の負担軽減 (問35～36)	負担が大きい業務、勤務環境改善の取組み	C
9	勤務先変更 (問37)	勤務先の変更理由	B・C
10	公衆衛生に係る医療提供体制 (問38～40)	休日夜間急患センター、産業医、学校医への出務状況	D

医療機関向けアンケート

＜医療施設の実態調査 記入要領＞

回答については、特に断りのない場合は、令和5年7月1日現在の状況をお答えください。

回答は、別紙の回答用紙に数字または日本語を記入し、回答用紙のみご返送ください。

回答用紙は機械で読み込みますので、枠線の内側に、数字はアラビア数字、日本語は楷書体でご記入ください。

鉛筆もしくはシャープペンシルなどで記載し、間違えた場合は、跡が残らないよう、消しゴム等できれいに消してから書き直してください。

●記入方法

(数字を記載する場合)

【良い例】

問7	3
----	---

【悪い例】

問7	5
----	---

枠線からはみ出さない

問7	1人
----	----

数字のみ記載する

(文字を記載する場合)

【良い例】

問2	〇〇病院
----	------

【悪い例】

問2	〇〇病院
----	------

楷書体で記載する

●回答方法

選択式の質問については、あてはまる数字を回答用紙にご記入ください。

(あてはまる数字を1つ)と記載している質問では選択肢の中から当てはまるもの1つ、

(あてはまる数字をすべて)と記載している質問ではあてはまるものすべての数字を記入してください。数字は1マスに回答番号を1つずつ記入してください。

(回答が「5」「8」「12」の場合)

【良い例】

問10	5	8	12	
-----	---	---	----	--

【悪い例】

問10	5	8	1	2
-----	---	---	---	---

「12」は1マスに記載する

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

＜医療施設の実態調査＞

調査対象施設は、次の凡例のとおりです。

- 【全】 : 全施設(病院・有床診療所・無床診療所)
- 【病・有】 : 病院・有床診療所
- 【病】 : 病院のみ

【問1～問4は、全施設ご回答ください。】

問1 貴施設の種別について、あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 病院(大学病院)
2. 病院(大学病院以外)
3. 有床診療所
4. 無床診療所
5. その他

問2 貴施設の名称について、回答用紙にご記入ください。

問3 貴施設の所在地について、あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 豊能(能勢町・豊能町・箕面市・池田市・吹田市・豊中市)
2. 三島(茨木市・高槻市・摂津市・島本町)
3. 北河内(枚方市・交野市・寝屋川市・守口市・門真市・大東市・四條畷市)
4. 中河内(東大阪市・八尾市・柏原市)
5. 南河内(松原市・藤井寺市・羽曳野市・富田林市・大阪狭山市・河内長野市・太子町・河南町・千早赤阪村)
6. 堺市
7. 泉州(高石市・和泉市・泉大津市・岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町)
8. 大阪市

問4 貴施設の指定について、あてはまる数字をすべてご記入ください。

1. 基幹型臨床研修病院
2. 協力型臨床研修病院または協力施設
3. 専門研修基幹施設
4. 専門研修連携施設
5. 特定機能病院
6. 地域医療支援病院
7. 救急指定病院
8. 2次救急医療施設
9. 救命救急センター(3次救急医療施設)
10. 総合周産期母子医療センター
11. 地域周産期母子医療センター
12. 小児中核病院
13. 小児地域医療センター
14. 在宅療養支援病院・診療所
15. 分娩取扱施設
16. なし

【病・有】

問5 貴施設の許可病床数について、回答用紙に数字のみご記入ください。

【問6～問10は全施設ご回答ください。】

問6 貴施設に従事する医師数について、常勤(臨床研修医、後期研修医を除く)、非常勤(臨床研修医、後期研修医を除く)、臨床研修医、後期研修医(専攻医)、男女別、年代別に分けて回答用紙に数字のみご記入ください。(令和5年7月1日時点)

※雇用形態に関わらず、貴施設が定める1週間の勤務時間(所定労働時間)の全てを勤務している場合は「常勤」、勤務していない場合は「非常勤」としてお答えください。

※非常勤医師の常勤換算の算出については、非常勤医師の1週間の勤務延べ時間数(残業は除く)を、貴施設において常勤の医師が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)で割り、小数点以下第2位を四捨五入してください。

※臨床に従事する医師で臨床研修医、後期研修医(専攻医)に該当しない大学院生については、「非常勤」に算入してください。

※外来・当直のアルバイト医師や手術等への臨時的応援医師なども非常勤医師として計上してください。

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

問7 非常勤の医師の主たる勤務先について、最もあてはまる数字を1つご記入ください。

1. 大学病院
2. 大学病院以外の病院
3. 診療所等
4. 当院が主たる勤務先(短時間勤務等)
5. その他

問8 貴施設の外来の受付体制について、平日・土曜・休日(日祝)・夜間それぞれの開始時間と終了時間を、回答用紙に24時間制でご記入ください。

問9 貴施設における外来での患者の待ち時間について、あてはまると考えられる数字を1つご記入ください。

1. 外来は完全予約制であり、患者の待ち時間はほとんどない(平均 60 分以内)。
2. 外来は完全予約制であるが、患者の一人あたりの待ち時間は平均 60 分を超えている。
3. 外来は予約制で、予約なしの患者も受け付けているが、患者の待ち時間はほとんどない(平均 60 分以内)。
4. 外来は予約制であるが、予約なしの患者も受け付けており、患者の一人あたりの待ち時間は平均 60 分を超えている。
5. 外来は予約制をとっていないが、患者の待ち時間はほとんどない(平均 60 分以内)。
6. 外来は予約制をとっておらず、患者の一人あたりの待ち時間は平均 60 分を超えている。

問10 貴施設の医師の勤務体制(診療体制)についてお聞きます。

問 10-1 日勤の体制について、あてはまる数字を1つご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

※診療所の場合、医師が1人であれば「1」を、医師が2名以上であれば「2」を選択してください。

1. 主治医制
2. 複数主治医制
3. 病棟により主治医制及び複数主治医制を併用
4. その他()

問 10-2 夜間及び休日の体制について、あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。(診療科ごとに体制が異なる場合は該当するものをすべてご記入ください)

1. 宿直・日直制(宿日直許可あり)
2. 宿直・日直制(宿日直許可なし)
3. 交替勤務制
4. オンコール制
5. その他()
6. 特に体制を取っていない

※宿直とは、当直のうち、夜間に行うもの。

※日直とは、当直のうち、日中に行うもの。

※当直とは、通常の勤務時間外に交代で働く勤務形態のこと。

※宿日直許可を受けた場合には、その許可の範囲で、労働基準法上の労働時間規制が適用除外となる。

※交替勤務制とは、日勤・夜勤などシフト制勤務体制としているもの。

※オンコール制とは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対応して診療等の対応を行う勤務のこと。

問 10-3 問 10-2で「1. 宿直・日直制(宿日直許可あり)」と回答された場合、宿日直許可を得ている診療科を回答用紙に全てご記入ください。

【病・有】

問11 貴施設において、宿日直許可の申請中である場合、申請中の診療科を回答用紙に全てご記入ください。

【病・有】

問12 貴施設の当直体制について、あてはまる数字を1つご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

※当直体制を取られている施設のみお答えください。

1. 各科当直(施設内の各診療科ごとに配置)
2. 全科当直(施設内全体で配置)

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

3. その他()

【病・有】

問 13 問 12 に関連して、令和5年7月1日の1日あたりの当直医師数について、回答用紙に数字のみご記入ください。

※当直体制を取られている施設のみお答えください。

()名

【全】

問 14 (紹介状なしで受診した患者等から定額負担を徴収している病院(特定機能病院・地域医療支援病院等)を対象とした質問です。その他の病院は、任意でお答えください。)

国において、現在、一部の医療機関において外来患者が集中し、勤務医の外来負担が増していると言われていますが、貴院において、紹介状を持参しない初診患者が増え、外来対応が負担となっている医師が多くなっていると考えられますか。あてはまる数字を1つご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 紹介状を持参しない初診の外来患者数が増えており、外来対応が負担となっている医師が多くなっている。
2. 紹介状を持参しない初診の外来患者数が増えているが、効率的に対応する等し、外来対応が負担となっている医師は多くないと考えられる。
3. 紹介状を持参しない初診の外来患者数は特に増えていないが、外来対応が負担となっている医師が多くなっている。
4. 紹介状を持参しない初診の外来患者数は特に増えておらず、外来対応が負担となっている医師は多くないと考えられる。
5. その他()

【全】

問 15 貴施設の常勤医師(臨床研修医、後期研修医を除く)の月当たりの時間外労働時間が80時間以上の医師数について、人数を回答用紙に数字のみご記入ください。

()名

【問 16～問 30 は全施設ご回答ください。】

問 16 医師の労働時間の把握方法について、貴施設で実施しているものすべてお答えください。

1. ICカード・タイムカード(機器等による管理)
2. 出勤簿への押印(自己申告等による管理)
3. 上司等の確認(第三者による管理)
4. その他()

問 17 貴施設では、緊急でない患者の病状説明等を所定就業時間内に実施するように、施設の方針として掲げて取り組んでいますか。あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 取り組んでいる
2. 取り組んでいない(取り組む予定もない)
3. 取り組むべく検討中

問 18 医師の確保・定着に関する取組のうち、貴施設で実施しているものについて、

あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 大学医局との連携
2. 専攻医・常勤医師の公募採用
3. 施設外での技術研修・留学等の支援
4. 幹部職員としての採用手続き
5. 給与の増額
6. 職員用住居の整備
7. 退職後の再雇用の推進
8. 人材派遣会社を活用した募集
9. その他()

問 19 貴施設において現在実施されている、医師が仕事と家庭生活とを両立しながら働き続けるための取組についてあてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 院内保育施設の設置・充実
2. ベビーシッター費用補助
3. 育児休業給付金の増額
4. 給与の増加
5. 育児休業の取得や短時間勤務等が昇給・昇進に影響しない仕組み

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

1. 院長などの管理者やその他医師の意識改革
2. 医療従事者間(事務職員も含む)での業務移管や共同化(タスク・シフティング)
3. ICT等の技術を活用した効率化や勤務環境改善
4. 医師の増員
5. 地域医療提供体制における機能分化や連携
6. 医師の適正配置
7. 患者に対する上手な医療のかかり方の周知
8. その他()

問 29 今後、定年退職者の増加等、既に想定される範囲で、医師確保が困難となる診療科について、あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 内科
2. 外科
3. 小児科
4. 産婦人科
5. 精神科
6. 皮膚科
7. 眼科
8. 耳鼻咽喉科
9. 泌尿器科
10. 整形外科
11. 脳神経外科
12. 形成外科
13. 救急科
14. 麻酔科
15. 放射線科
16. リハビリテーション科
17. 病理診断科
18. 臨床検査科
19. 総合診療
20. その他()

問 30 貴施設開設者における後継者の検討状況について、あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 現開設者が当分の間、現役で従事する予定であり、後継者の検討はしていない。
2. 後継予定者がいる。
3. 後継予定者はいないが、目途は立っている。
4. 現開設者が退職後は閉院する予定であるため、後継予定者はいない。
5. 後継予定者の目途がたたず、困っている。

《産科(周産期)、小児科、救急科、総合診療部門の医療体制についてお伺いします。》

【問 31～問 37 は産科を設置している医療機関のみご回答ください。】

問 31 産科の「許可病床数」、「稼働病床数」、「令和4年度(2022年度)の1年間の病床利用率(%)」について、それぞれ回答用紙に数字のみご記入ください。

※病床利用率の小数点以下は、四捨五入してください。

問 32 貴施設での令和4年度(2022年度)の分娩数について、「正常分娩」「異常分娩」別に、また異常分娩のうち「選択帝王切開」「緊急帝王切開」「その他」別に、それぞれ回答用紙に数字のみご記入ください。

問 33 現在の周産期の医療提供体制はについてお聞きます。

分娩を取り扱っている医師のうち、「産科医師」「新生児科医師」「麻酔科医師」「その他の医師」について、それぞれ常勤・非常勤の医師数を回答用紙に数字のみご記入ください。

問 34 問 33 で回答された「産科医師」「新生児科医師」「麻酔科医師」「その他の医師」の中に、「小学生以下の子どもがいる」または「家族の介護中」の医師はいますか。それぞれあてはまる数字を1つご記入ください。

1. いる →問 34-1 へ
2. いない →問 35 へ

問 34-1 問 34 で「1. いる」と回答された場合、業務を軽減するための取組みについて、あてはまる数字をすべてご記入ください。

1. 当直減
2. 当直免除
3. 外来のみ
4. 時短勤務
5. その他業務緩和
6. 特に業務負担の軽減なし

問 35 医療提供体制の維持の観点から、医療が充足していると思われますか。

あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 充足している
2. おおむね充足している
3. 充足していない(原因:)

※自身の医療機関の常勤医師のみで夜間当直を含めて対応が可能な場合「充足している」、自身の医療機関の常勤医師のみでは対応できないが、常勤医師に加え非常勤医師で対応が

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

可能な場合「おおむね充足している」、

自身の医療機関の常勤及び非常勤の医師でもってしても対応できない場合「充足していない」を選択してください。

※3を選択した場合は、考えられる原因をご記入ください。

※1～3に関わらず、その他周産期領域の医師確保について、現状をより良くするために今後どのようなことが必要と思われますか。(自由記載)

問 36 産婦人科医の勤務環境改善で取り組まれていることは何ですか。

問 37 今後取り組むべきと思われることは何ですか。

※問 36 と問 37 それぞれ、下記項目のうちあてはまる数字をすべてにご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 医師の交代制勤務 | 2. 他職種との連携 |
| 3. 医療機関の責任者による医師の労働実態の把握 | |
| 4. 女性医師に対する当直や残業の減免などの配慮 | |
| 5. 時間外労働についての割増賃金などの支払い | 6. 時間外の呼び出しなし |
| 7. 複数主治医制の導入 | 8. その他() |
| | 9. 特になし |

【問 38～問 41 は小児科を設置している医療機関のみご回答ください。】

問 38 貴施設での小児科の診療内容について、

あてはまる数字をすべてにご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

- | | | | | | |
|---------|-----------|----------|----------|------------|---------|
| 1. 外来 | 2. 一般小児病床 | 3. 新生児 | 4. NICU | 5. GCU | 6. PICU |
| 7. 小児救急 | 8. 在宅 | 9. 乳幼児健診 | 10. 予防接種 | 11. その他() | |

【問 38 で「2. 一般小児病床」、「3. 新生児」、「4. NICU」、「5. GCU」、「6. PICU」を選択された施設のみ】

問 38-1 それぞれの「許可病床数」及び「令和4年度(2022年度)の1年間の病床利用率(%)」について、該当するもののみ、それぞれ回答用紙に数字のみご記入ください。

※病床利用率の小数点以下は、四捨五入してください。

問 39 医療提供体制の維持の観点から、医療が充足していると思われますか。

あてはまる数字を1つにご記入ください。

- | | | |
|-----------|---------------|------------------|
| 1. 充足している | 2. おおむね充足している | 3. 充足していない(原因:) |
|-----------|---------------|------------------|

※自身の医療機関の常勤医師のみで夜間当直を含めて対応が可能な場合「充足している」、自身の医療機関の常勤医師のみでは対応できないが、常勤医師に加え非常勤医師で対応が可能な場合「おおむね充足している」、

自身の医療機関の常勤及び非常勤の医師でもってしても対応できない場合「充足していない」を選択してください。

※3を選択した場合は、考えられる原因をご記入ください。

※1～3に関わらず、その他小児科の医師確保について、現状をより良くするために今後どのようなことが必要と思われますか。(自由記載)

問 40 小児科医の勤務環境改善で取り組まれていることは何ですか。

問 41 今後取り組むべきと思われることは何ですか。

※問 40 と問 41 それぞれ、下記項目のうちあてはまる数字をすべてにご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 医師の交代制勤務 | 2. 他職種との連携 |
| 3. 医療機関の責任者による医師の労働実態の把握 | |
| 4. 女性医師に対する当直や残業の減免などの配慮 | |
| 5. 時間外労働についての割増賃金などの支払い | 6. 時間外の呼び出しなし |
| 7. 複数主治医制の導入 | 8. その他() |
| | 9. 特になし |

【問 42～問 46 は救急科を設置している医療機関のみご回答ください。】

問 42 貴施設における救急科の医療機能について、

あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 三次 2. 二次 3. 二次(特定機能) 4. その他()

問 43 二次救急の従事時間のうち、救急科の医師が占める割合は何%ですか。

回答用紙に数字のみご記入ください。

※小数点以下は四捨五入してください。

※変動がある場合は、おおよその数字をご記入ください。

問 44 医療提供体制の維持の観点から、医療が充足していると思われますか。

あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 充足している 2. おおむね充足している 3. 充足していない(原因:)

※自身の医療機関の常勤医師のみで夜間当直を含めて対応が可能な場合「充足している」、自身の医療機関の常勤医師のみでは対応できないが、常勤医師に加え非常勤医師で対応が可能な場合「おおむね充足している」、自身の医療機関の常勤及び非常勤の医師でもってしても対応できない場合「充足していない」を選択してください。

※3を選択した場合は、考えられる原因をご記入ください。

※1～3に関わらず、その他救急科の医師確保について、現状をより良くするために今後どのようなことが必要と思われますか。(自由記載)

問 45 救急科医の勤務環境改善で取り組まれていることは何ですか。

問 46 今後取り組むべきと思われることは何ですか。

※問 45 と問 46 それぞれ、下記項目のうちあてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 医師の交代制勤務 2. 他職種との連携
3. 医療機関の責任者による医師の労働実態の把握
4. 女性医師に対する当直や残業の減免などの配慮
5. 時間外労働についての割増賃金などの支払い 6. 時間外の呼び出しなし
7. 複数主治医制の導入 8. その他() 9. 特になし

【問 47 は総合診療部門※1を設置している病院のみご回答ください。】

大阪府では、臓器横断型の外来診療や病棟診療など総合的な診療能力を有する総合診療医を育成するため、令和 4 年度に地域枠医師※2の指定診療コースとして、新たに総合診療コースを設け総合診療医の確保・育成に取り組んでいるところです。病院の総合診療部門の実態を把握するために、貴施設(病院)の総合診療部門の状況をご回答ください。

※1 内科だけではなく、小児を含む全てのライフステージのケア、外科処置を含む診療を行う部門のことです。

※2 地域枠医師とは、医学部卒業後に大阪府が指定する地域や指定診療業務に従事することを条件に、大阪府が修学資金を貸与する医師のことです。

問 47 貴施設(病院)では、総合診療部門を設置していますか。あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 設置している →問 47-1へ 2. 設置していない →問 48へ

問 47-1 問 47 で「1. 設置している」と回答された場合、貴施設の総合診療部門で実施していることについて、あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 臓器横断型の総合的な外来診療 2. 内科系急性期病棟の管理・運営
3. 回復期病棟の管理・運営 4. 振り分け、トリアージ 5. 対応科がない領域の疾患対応

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

6. その他 ()

問 47-2 問 47 で「1. 設置している」と回答された場合、総合診療部門の担当医師について、あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 総合診療医 2. 内科医 3. 救急医 4. 小児科医 5. その他()

【問 48～問 58 は全施設ご回答ください。】

問 48 貴施設では、新型コロナウイルス感染症患者を治療できる医師がいますか。あてはまる数字を1 つご記入ください。

※感染症専門医に限らず、新型コロナウイルス感染症患者を治療されたことがある(又は治療できる)医師が所属されている場合は、「いる」を選択してください。

1. いる →問 48-1 へ 2. いない →問 49 へ

問 48-1 問 48 で「1. いる」と回答された場合、貴施設で、新型コロナウイルス感染症患者を治療できる医師数について、診療科別、常勤・非常勤別に回答用紙に数字のみご記入ください。

問 48-2 問 48 で「1. いる」と回答された場合、貴施設で実施されている感染症患者を治療できる医師の養成・確保の取組みについて、あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 自院で研修を実施
2. 他院で実施している研修に参加
3. 他院からの応援(非常勤として雇用)
4. 「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」(厚生労働省発行)の活用
5. その他()

問 49 貴施設において、保有している医療機器とその台数についてお答えください。

※あてはまる数字をすべてご記入ください。

※該当するもののみ、保有台数を回答用紙に数字のみご記入ください。

1. CT(台)
2. MRI(台)
3. PET(台)
4. マンモグラフィ(台)
5. 放射線治療機器(リニアック及びガンマナイフ)(台)
6. 1～5のいずれの機器も有しない →問 50 へ

問 49-1 問 49 で「1～5」と回答された方、現在、自院の医療機器において他の医療機関と共同利用を行っているものをすべてお答えください。

1. CT
2. MRI
3. PET
4. マンモグラフィ
5. 放射線治療機器(リニアック及びガンマナイフ) →問 50
6. 現在、他の医療機関と自院の医療機器の共同利用を行っていない →問 49-3 へ

問 49-2 問 49-1 で「1～4」と回答された方、地域の診療所から1～4の機器を使用した検査依頼を受けたことがありますか。

1. ある
2. ない

問 49-3 問 49-1 で「6」と回答された方、今後、自院の医療機器について他の医療機関との共同利用の予定はありますか。予定がない場合は、その理由としてあてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 予定がある
 2. 予定はない
- 【理由】
1. 自院の患者の治療・検査を優先したい
 2. 故障等の際に責任の所在が不明確
 3. 急遽必要となった場合に困る
 4. その他()

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

問 57 グループ診療体制で在宅医療を実施する上での課題は何ですか。

※実施している方・実施していない方とも、課題について回答ください。

※あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 連携できる医療機関を探すのが困難である
2. 医師間の情報共有が困難である
3. 連携できる訪問看護ステーションを探すのが困難である
4. 診療報酬の請求手続きが煩雑である
5. 新興感染症等の有事の際は、連携が困難である
6. その他()

問 58 在宅医療にかかるグループ診療を円滑に実施するために必要なことは何ですか。

※あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 地域の医療支援(地区医師会・府医師会等の支援)
2. 医療機関間の連携を調整する人材・機関
3. ICTを活用した情報共有
4. 診療報酬の増額
5. グループ診療に関する研修や好事例の共有
6. 患者や家族の理解
7. 訪問看護ステーションとの連携

8. その他()

次のページまで続きます。

※回答は【別葉 回答用紙】にご記入ください。

【別葉】

※以下の質問への回答は、【別葉 回答用紙】にご記入ください。

●貴施設に登録されている医師数について

診療科別、男女別、年代別、常勤・非常勤別に【別葉 回答用紙】に数字のみご記入ください。

●貴施設の患者数について

令和5年5月の1ヵ月間の外来患者数を診療時間内、時間外別に【別葉 回答用紙】に数字のみご記入ください。

※患者の実人数ではなく、「5月の1か月間のべ患者数」でお答えください。

【例】

<入院患者数> 在棟延べ患者数でお答えください。1か月に1名の患者が10日間入院した場合、「10」としてカウントしてください。

<外来患者数> 1か月に1名の患者が3回受診した場合、「3」としてカウントしてください。

アンケートは以上です。
【回答用紙】及び【別葉 回答用紙】のみ、返信用封筒に入れてお送りください。
ご協力ありがとうございました。

医師向けアンケート

＜医師個人の実態調査 記入要領＞

回答については、特に断りのない場合は、令和5年7月1日現在の状況をお答えください。

回答は、別紙の回答用紙に数字または日本語を記入し、回答用紙のみご返送ください。

回答用紙は機械で読み込みますので、枠線の内側に、数字はアラビア数字、日本語は楷書体でご記入ください。

鉛筆もしくはシャープペンシルなどで記載し、間違えた場合は、跡が残らないよう、消しゴム等できれいに消してから書き直してください。

●記入方法

(数字を記載する場合)

【良い例】

問7	3
----	---

【悪い例】

問7	5
----	---

枠線からはみ出さない

問7	1人
----	----

数字のみ記載する

(文字を記載する場合)

【良い例】

問2	〇〇病院
----	------

【悪い例】

問2	〇〇病院
----	------

楷書体で記載する

●回答方法

選択式の質問については、あてはまる数字を回答用紙にご記入ください。

(あてはまる数字を1つ)と記載している質問では選択肢の中から当てはまるもの1つ、

(あてはまる数字をすべて)と記載している質問ではあてはまるものすべての数字を記入してください。

数字は1マスに回答番号を1つずつ記入してください。

(回答が「5」「8」「12」の場合)

【良い例】

問10	5	8	12	
-----	---	---	----	--

【悪い例】

問10	5	8	1	2
-----	---	---	---	---

「12」は1マスに記載する

<問 11 関係> 時間数記入についての注意事項

- ・休日(一日を通して通常の勤務が課せられていない日)については、労働時間等への算入は不要です。
 - ・いずれの時間も 30 分単位で記入してください。30 分に満たない場合は、30 分単位で切り上げて記入してください。
 - ・「宿直・日直」「宅直・オンコール」には該当する時間の合計を記入し、そのうち実際に患者に対して診療等の対応を行った時間を「診療」や「診療外」の各欄に時間数を算入してください。
 - ・「指示無」には、診療外の「教育」「研究」「研鑽」「その他の業務」の時間のうち、上司等からの指示(黙示的な指示を含む)がない時間について算入してください。
- ※上司等からの明示的な指示がなくても、勤務先から当然求められていると考えられる水準の研鑽行為であれば、上司等からの指示があったものとして算入しないでください。・「睡眠(仮眠を含む)」には、「宿直・日直」「宅直・オンコール」中の睡眠時間と帰宅してからの睡眠時間を算入してください
- ・休憩時間(業務を行わず、食事や休養等に費やした時間)は、いずれにも算入しないでください。
- ※「宿直・日直」には、休日診療所への交代での出務を含みます。

<<用語の定義>>

診療業務

診療…外来・入院・在宅患者それぞれの診察・治療・説明等に費やした時間。直接患者に接していなくても、患者の診療のための移動時間、患者のために行った事務作業やカンファレンスの時間、患者の診療のための調査や学習の時間は「外来診療」「入院診療」「在宅診療」の時間と考えてください。(レセプトのチェックに要する時間、介護保険や障がい福祉サービスに係る主治医意見書の作成等に要する時間を含みます。)

診療外業務(診療以外の下記4つの業務を行った場合)

教育…医学部等学生・研修医・看護師等コメディカル職種・事務職員への教育やその準備に費やした時間。

研究…実験や調査、論文執筆等に費やした時間。また、研究に伴う事務作業やカンファレンスの時間も「研究」の時間と考えてください。

研鑽…学習(例:医学雑誌や医学書に目を通す)や研修(例:講習会・講演会・説明会等への参加)のために費やした時間。

その他の業務…会議・管理業務(外来・入院・在宅患者の診療に直接関係のない会議や委員会への参加、施設基準や加算を取得するための研修の受講、経営・人事等に関する業務)や学校医・産業医等の地域医療活動、講演などに費やした時間。

宿直・日直

宿直…当直※のうち、夜間に行うもの。

日直…当直※のうち、日中に行うもの。

※当直とは、通常の勤務時間外に交代で働く勤務形態のこと。

宅直・オンコール…通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う勤務。

睡眠(仮眠を含む)

「宿直・日直」「宅直・オンコール」中の睡眠時間(主たる勤務先以外での勤務時間の睡眠時間を含む)と帰宅してからの睡眠時間。

※調査期間中のすべての睡眠時間(仮眠を含む)を記載してください。

<医師個人の実態調査>

調査対象者は、次の凡例のとおりです。

【全】 : 全施設（病院・医育機関※・有床診療所・無床診療所）の医師

【病・有】 : 主に病院・医育機関※・有床診療所に従事（所属）する医師

【病】 : 主に病院・医育機関※に従事（所属）する医師

※医育機関の医師とは、医育大学に従事（所属）する臨床系の教官・教員、大学院生等のことです。

【問1～問10は全施設ご回答ください。】

問1 あなたの年齢について、回答用紙に数字のみご記入ください。

問2 あなたの性別について、あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 男性
2. 女性
3. 答えたくない

問3 あなたの所属する主たる診療科についてお聞きします。

主に従事する診療科の数字を1つご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

※ 臨床研修医は20を選択

※ 身体や臓器等を含む診療科(〇〇内科や△△外科など)を主たる診療科としている場合は、「1. 内科」や「2. 外科」を選択

(ただし外科のうち整形外科・脳神経外科・形成外科は選択項目があります)

1. 内科
2. 外科
3. 小児科
4. 産婦人科
5. 精神科
6. 皮膚科
7. 眼科
8. 耳鼻咽喉科
9. 泌尿器科
10. 整形外科
11. 脳神経外科
12. 形成外科
13. 救急科
14. 麻酔科
15. 放射線科
16. リハビリテーション科
17. 病理診断科
18. 臨床検査科
19. 総合診療科
20. 臨床研修医
21. その他()

問4 あなたの主たる勤務先の医療機関の所在地についてあてはまる数字を1つご記入ください。

1. 豊能(能勢町・豊能町・箕面市・池田市・吹田市・豊中市)
2. 三島(茨木市・高槻市・摂津市・島本町)
3. 北河内(枚方市・交野市・寝屋川市・守口市・門真市・大東市・四條畷市)
4. 中河内(東大阪市・八尾市・柏原市)
5. 南河内(松原市・藤井寺市・羽曳野市・富田林市・大阪狭山市・河内長野市・太子町・河南町・千早赤阪村)
6. 堺市
7. 泉州(高石市・和泉市・泉大津市・岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町)
8. 大阪市

問5 あなたの主たる勤務先での勤務形態について、あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 常勤
2. 非常勤
3. その他

問6 主に従事(所属)している施設及び業務の種別について、

あてはまる数字を1つご記入ください。その他は「その他」の欄にご記入ください。

※産休、育休等の休暇を取得中の方については、所属している施設での休暇取得前の業種の種別を選択してください。

1. 診療所の開設者又は法人の代表者
2. 診療所の勤務者
3. 病院の開設者
4. 病院の勤務者
5. 医育機関の臨床系の教官又は教員
6. 医育機関の臨床系の大学院生
7. 医育機関の臨床系の勤務者で5又は6以外の者(医員、臨床研修医、その他)
8. その他()

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

問7 専門医等資格の有無について、あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 取得している →問7-1へ
2. 取得していない →問8へ
3. 取得するため専門研修中である →問7-2へ

問7-1 問7で「1. 取得している」と回答された方は、該当する専門医資格をすべてご記入ください。

《基本 19 領域》※専門医のみ。認定医を除く

- | | | | | |
|----------------|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 内科 | 2. 外科 | 3. 小児科 | 4. 産婦人科 | 5. 精神科 |
| 6. 皮膚科 | 7. 眼科 | 8. 耳鼻咽喉科 | 9. 泌尿器科 | 10. 整形外科 |
| 11. 脳神経外科 | 12. 形成外科 | 13. 救急科 | 14. 麻酔科 | 15. 放射線科 |
| 16. リハビリテーション科 | 17. 病理 | 18. 臨床検査科 | 19. 総合診療 | |

《医療に関する広告が可能となっている専門医資格》※基本 19 領域に含まれるもの除く

- | | | | | |
|--------------|--------------|------------|------------|----------------|
| 21. 総合内科 | 22. 糖尿病 | 23. 肝臓 | 24. 感染症 | 25. 血液 |
| 26. 循環器 | 27. 呼吸器 | 28. 消化器病 | 29. 腎臓 | 30. 内分泌代謝科 |
| 31. 消化器外科 | 32. 超音波 | 33. 細胞診 | 34. 透析 | 35. 老年病 |
| 36. 心臓血管外科 | 37. 呼吸器外科 | 38. 消化器内視鏡 | 39. 小児外科 | 40. 神経内科 |
| 41. リウマチ | 42. 乳腺 | 43. 臨床遺伝 | 44. 漢方 | 45. レーザー |
| 46. 気管支鏡 | 47. アレルギー | 48. 核医学 | 49. 気管食道科 | 50. 大腸肛門 |
| 51. 婦人科腫瘍 | 52. ペインクリニック | 53. 熱傷 | 54. 脳血管内治療 | 55. がん薬物療法 |
| 56. 周産期(新生児) | 57. 生殖医療 | 58. 小児神経 | 59. 心療内科 | 60. 一般病院連携精神医学 |

《日本専門医機構が認定したサブスペシャリティの専門領域》

- | | | | | |
|-----------------|-------------|-----------|----------------|-----------|
| 61. 消化器内科 | 62. 循環器内科 | 63. 呼吸器内科 | 64. 血液内科 | |
| 65. 内分泌代謝・糖尿病内科 | 66. 脳神経内科 | 67. 腎臓内科 | 68. 膠原病・リウマチ内科 | |
| 69. アレルギー | 70. 感染症 | 71. 老年科 | 72. 腫瘍内科 | 73. 肝臓内科 |
| 74. 消化器内視鏡 | 75. 内分泌代謝内科 | 76. 糖尿病内科 | 77. 消化器外科 | |
| 78. 呼吸器外科 | 79. 心臓血管外科 | 80. 小児外科 | 81. 乳腺外科 | 82. 内分泌外科 |
| 83. 放射線治療 | 84. 放射線診断 | | | |

問7-2 問7で「3. 取得するため専門研修中である」と回答された方は、研修中の専門医資格(日本専門医機構のサブスペシャリティ専門領域を含む)をすべてご記入ください。

- | | | | | |
|-----------------|-------------|-----------|----------------|-----------|
| 1. 内科 | 2. 外科 | 3. 小児科 | 4. 産婦人科 | 5. 精神科 |
| 6. 皮膚科 | 7. 眼科 | 8. 耳鼻咽喉科 | 9. 泌尿器科 | 10. 整形外科 |
| 11. 脳神経外科 | 12. 形成外科 | 13. 救急科 | 14. 麻酔科 | 15. 放射線科 |
| 16. リハビリテーション科 | 17. 病理 | 18. 臨床検査科 | 19. 総合診療 | |
| 20. 消化器内科 | 21. 循環器内科 | 22. 呼吸器内科 | 23. 血液内科 | |
| 24. 内分泌代謝・糖尿病内科 | 25. 脳神経内科 | 26. 腎臓内科 | 27. 膠原病・リウマチ内科 | |
| 28. アレルギー | 29. 感染症 | 30. 老年科 | 31. 腫瘍内科 | 32. 肝臓内科 |
| 33. 消化器内視鏡 | 34. 内分泌代謝内科 | 35. 糖尿病内科 | 36. 消化器外科 | |
| 37. 呼吸器外科 | 38. 心臓血管外科 | 39. 小児外科 | 40. 乳腺外科 | 41. 内分泌外科 |
| 42. 放射線治療 | 43. 放射線診断 | | | |

問8 あなたの勤務先の医療機関の指定などについて、「主たる勤務先」にあてはまる数字をすべてご記入ください。

1. 基幹型臨床研修病院
2. 協力型臨床研修病院または協力施設
3. 専門研修基幹施設
4. 専門研修連携施設
5. 特定機能病院
6. 地域医療支援病院
7. 救急指定病院
8. 2次救急医療施設
9. 救命救急センター(3次救急医療施設)
10. 総合周産期母子医療センター
11. 地域周産期母子医療センター

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

12. 小児中核病院 13. 小児地域医療センター 14. 在宅療養支援病院・診療所
15. 分娩取扱施設 16. なし

問9 あなたの勤務先の開設主体について、「主たる勤務先」にあてはまる数字を1つご記入ください。

1. 国(「国立大学法人」「国立大学法人以外の法人」のいずれかに該当する場合)
2. 公立病院(「府立病院機構が運営する病院」「公立病院」等に該当する場合)
3. 2以外の公的医療機関
4. 1～3のいずれにも該当しない

問10 あなたの主たる勤務先の属性について、あてはまる数字を1つご記入ください

1. 無床
2. 100床未満
3. 100床以上 200床未満
4. 200床以上 300床未満
4. 300床以上 500床未満
5. 500床以上 900床未満
6. 900床以上

【病・有】

問11-1 今年6月の1か月間の宿直・日直の回数を「主たる勤務先」「主たる勤務先以外の勤務先」別に回答用紙に数字のみご記入ください。

※宿直…当直のうち、夜間に行うもの。

日直…当直のうち、日中に行うもの。

当直とは、通常の勤務時間外に交代で働く勤務形態のこと。

※休日診療所への交代での出務などを含みます。

※主たる勤務先以外の勤務先が複数ある場合は、合計回数をご記入ください。

【全】

問11-2 あなたの今年6月の1か月間の労働時間について、「主たる勤務先」「主たる勤務先以外の勤務先」別に労働時間の内訳を回答用紙に数字のみご記入ください。

※30分単位で記入してください。30分に満たない場合は、30分単位で切り上げて記入してください。(例:200時間15分→200時間30分と記入)

※「労働時間」とは、診療業務と診療外業務(それぞれの定義は問11の注意事項をご参照ください)を合わせた時間数とします。(宿日直、オンコール中に発生したそれぞれの業務の時間数も含みます。)

※算出が難しい場合は、問12の直近1週間労働時間等を4倍(=4週間分)していただいた時間数を参考に、おおよその数字をご記入ください。

※主たる勤務先以外の勤務先が複数ある場合は、合計時間数をご記入ください。

【全】

問11-3 あなたの今年6月の1か月間の宅直・オンコールの回数について、「主たる勤務先」「主たる勤務先以外の勤務先」別に、回答用紙に数字のみご記入ください。

※主たる勤務先以外の勤務先が複数ある場合は、合計回数をご記入ください。

【全】

問12 直近1週間(例:7月3日(月)～7月9日(日))の労働時間等について、「主たる勤務先での勤務」「主たる勤務先以外の勤務」別に時間数を、回答用紙に数字のみご記入ください。(宿直・日直と宅直・オンコールについては、その回数もお答えください。)

主たる勤務先以外の勤務先での1週間の勤務については、従事した医療機関の医療圏と種別を、それぞれお答えください。(該当する場合のみ)

※医療圏は問4の選択肢から、あてはまる数字をご記入ください。

※種別は問8の選択肢から、あてはまる数字をご記入ください。

※主たる勤務先以外の勤務先が複数ある場合は、その合計時間数、合計回数をご記入ください。

【病・有】

問 13 宿直に従事した場合の状況については、
あてはまる数字を1つご記入ください。その他は「その他」の欄にご記入ください。

(主たる勤務先)

1. 業務がほとんどないため、ほぼ睡眠が取れる
2. 宿直時間中1～2回程度呼び出されるが、すぐに宿直室に戻る
3. 宿直時間中も呼び出しが多く、業務に従事する時間が5割程度
4. 宿直時間中もほぼ業務に従事し、睡眠が殆ど取れない
5. その他()

(主たる勤務先以外の勤務先 ※複数ある場合は、従事した時間が最も長い医療機関)

1. 業務がほとんどないため、ほぼ睡眠が取れる
2. 宿直時間中、1～2回程度呼び出されるが、すぐに宿直室に戻る
3. 宿直時間中も呼び出しが多く、業務に従事する時間が5割程度
4. 宿直時間中もほぼ業務に従事し、睡眠が殆ど取れない
5. その他()

【病・有】

問 14 今年6月の1か月間において、宿日直に従事している時の業務について、「主たる勤務先」
「主たる勤務先以外の勤務先」別にそれぞれあてはまる数字を1つご記入ください。
※主たる勤務先以外の勤務先が複数ある場合は、最も勤務時間が長い勤務先についてご記入
ください。

1. 少数の要注意患者の状態の変動に対応するため、問診等による診察等(軽度の処置を含む。)や、看護師等に対する指示、確認を行うこと
2. 外来患者の来院が通常想定されない休日・夜間(例えば非輪番時であるなど)において、少数の軽症の外来患者や、かかりつけ患者の状態の変動に対応するための、問診等による診察等や、看護師等に対する指示、確認を行うこと
3. 1と2のいずれにも該当しない。

【病・有】

問 15 今年6月の1か月間において、宿日直中に通常の勤務時間と同態様の業務に従事する場合
について、「主たる勤務先」「主たる勤務先以外の勤務先」別にそれぞれあてはまる数字
を1つご記入ください。
※主たる勤務先以外の勤務先が複数ある場合は、最も勤務時間が長い勤務先についてご記入
ください。

※同態様の業務とは、医師が突発的な事故による応急患者の診療又は入院、患者の死亡、出
産等に対応すること等を指します。

1. 従事することが稀である
2. 従事することが常態としてある
3. 1と2のいずれにも該当しない

【病・有】

問 16 今年6月の1か月間において、宿日直への従事を開始する時の状況について、「主たる勤
務先」「主たる勤務先以外の勤務先」別にそれぞれあてはまる数字を1つご記入ください。

1. 通常の勤務時間の拘束から完全に解放された状況
2. 通常の勤務時間終了後もなお、概ね、通常の勤務態様が継続した状況

【全】

問 17 直近の1週間(例:7月3日(月)～7月9日(日))で、当直及び当直明けの日を除き、24時
間の中で、通常の勤務時間と次の勤務時間までには、9時間のインターバル(休息)を確保
できましたか。あてはまる数字を1つご記入ください。

1. できた
2. できなかった

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

【病・有】

問 18 直近の1週間(例:7月3日(月)~7月9日(日))で、当直の後に引き続いて勤務する場合に、前日の勤務開始から 28 時間以上の連続勤務がありましたか。あてはまる数字を1つご記入ください。

「1. あった」と回答された方はその回数を回答用紙に数字のみご記入ください。

1. あった(回) 2. なかった

【病・有】

問 19 直近の1週間(例:7月3日(月)~7月9日(日))で、当直明け後は、18時間のインターバル(休息)を確保できましたか。あてはまる数字を1つご記入ください。

1. できた 2. できなかった

【問 20~問 40 は全施設ご回答ください。】

問 20 ご自身で把握されている外来／入院／診療外の従事割合について、合計 10 割になるよう、回答用紙に各割合の数字をご記入ください。

問 21 月の休日回数について、あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 4日以内 2. 6日以内 3. 8日以内 4. 9日以上

問 22 今年の4月から6月までの間において、年次休暇を何日取得しましたか。

あてはまる数字を1つご記入ください。

※診療所開設者、病院開設者及び法人代表者は、あらかじめ定められた閉院日を除いた休暇取得日数をご回答ください。

1. 0日 2. 1~3日 3. 4日~6日 4. 7日以上

問 23 産休(産前休暇・産後休暇)の取得経験の有無について、

あてはまる数字を1つご記入ください。

1. あり 2. なし

問 24 育児休業の取得経験の有無について、あてはまる数字を1つご記入ください。

1. あり →問 25 以降へ 2. なし →問 24-1 へ

問 24-1 問 24 で「2. なし」と回答された方、育児休業の取得を希望しましたか。

あてはまる数字を1つご記入ください。

1. はい →問 24-2 へ 2. いいえ →問 25 へ

問 24-2 問 24-1 で「1. はい」と回答された方、希望されたにも関わらず、取得できなかった理由について、あてはまる数字をすべてご記入ください。

1. 休業中の所得補償がなかったため
2. 子どもを預けられる保育所、託児所等が見つかる見込みがなかったため
3. 代替となる医師を確保できなかったため
4. その他()

問 25 出産(配偶者又はパートナーの出産を含む)後、育児のために離職した経験がありますか。

あてはまる数字を1つご記入ください。

1. はい → 問 25-1 へ 2. いいえ →問 26 へ

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

あてはまる数字を1つご記入ください。その他は「その他」の欄にご記入ください。

1. 常勤医師として復帰
2. 非常勤医師として復帰
3. 復帰支援プログラム中
4. 退職
5. 休職中 →問 28-1 へ
6. その他()

問 28-1 問 28 で「5. 休職中」と回答された方について、復帰予定はありますか。

あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 常勤医師として復帰予定
2. 非常勤医師として復帰予定
3. 現時点で復帰予定はない

問 29 保育所または託児所を利用していますか、または利用予定はありますか。

あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 利用している・予定がある →問 30 へ
2. 利用していない・予定もない →問 35 へ

問30 問29で「1. 利用している・予定がある」と回答された方について、保育所または託児所で期待する取組はありますか。あてはまる数字をすべてご記入ください。その他は「その他」の欄にご記入ください。

1. **24** 時間保育
2. 土曜日の保育
3. 日曜祝日の保育
4. 病児・病後児保育
5. 一時保育
6. その他()
7. 特になし

問 31 問 30 で回答された中で、希望されたものの受けられなかったサービスはありますか。

あてはまる数字をすべてご記入ください。その他は「その他」の欄にご記入ください。

1. **24** 時間保育
2. 土曜日の保育
3. 日曜祝日の保育
4. 病児・病後児保育
5. 一時保育
6. その他()
7. 特になし

問 32 従事する医療機関の保育所または託児所(院内保育所等)を利用していますか、または利用予定はありますか。あてはまる数字を1つご記入ください。

1. 利用している・予定がある →問 35 へ
2. 従事する医療機関に院内保育所等はあるが、利用していない・予定もない →問 33 へ
3. 従事する医療機関に院内保育所等がない →問 35 へ

問 33 問 32 で「2. 利用していない・予定もない」と回答された方、その理由をお答えください。

あてはまる数字をすべてご記入ください。その他は「その他」の欄にご記入ください。

1. 対象児童の年齢制限
2. 保護者の所得制限
3. 通勤時の交通機関の混雑等により児童と共に通勤するのが困難
4. 病児・病後児保育が対象外
5. その他()

問 34 問 32 で「2. 利用していない・予定もない」と回答された方、院内保育所等以外の保育所または託児所(地元の保育所等)を利用されている(利用する予定がある)理由をお答えください。あてはまる数字をすべてご記入ください。その他は「その他」の欄にご記入ください。

1. 対象児童の年齢制限が厳しくない
2. 保護者の所得制限が厳しくない
3. 児童の送迎が困難でない
4. 病児・病後児保育が対象
5. その他()

問 35 業務のなかで負担が大きいと感じるものについて、あてはまる数字をすべてご記入ください。その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 外来診療
2. 在宅診療
3. 電子カルテの記入
4. 診断書等の文書作成

※回答は別紙の回答用紙にご記入ください。

問 39-1 問 39 で産業医として「1. 出務したことがある」と回答された方

①月当たりの産業医出務回数を、回答用紙に数字のみご記入ください。

月当たり平均(回)

②産業医として出務するにあたり課題はありますか。あてはまる数字をすべてご記入ください。
その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 業務量 2. 待遇面 3. 課題はない 4. その他()

問 39-2 問 39 で産業医として「2. 出務したことはない」と回答された方は、その理由について、
あてはまる数字をすべてご記入ください。

1. 希望条件(賃金、労働時間、業務内容等)の不一致 2. 時間が割けない

3. 求人募集がない 4. 出務に必要な資格等がない

5. 特に関心がない(産業医への出務の意志はない)

問 40 令和4年7月1日から令和5年6月30日の間、学校医として出務したことがありますか。

1. 出務したことがある →問 40-1 へ 2. 出務したことはない →問 40-2 へ

問 40-1 問 40 で学校医として「1. 出務したことがある」と回答された方

①月当たりの学校医出務回数を、回答用紙に数字のみご記入ください。

月当たり平均(回)

②学校医として出務するにあたり課題はありますか。あてはまる数字をすべてご記入ください。
その他の回答は「その他」の欄にご記入ください。

1. 業務量 2. 待遇面 3. 課題はない 4. その他()

問 40-2 問 40 で学校医として「2. 出務したことはない」と回答された方は、その理由について、
あてはまる数字をすべてご記入ください。

1. 希望条件(賃金、労働時間、業務内容等)の不一致 2. 時間が割けない

3. 求人募集がない 4. 出務に必要な資格等がない

5. 特に関心がない(学校医への出務の意志はない)

アンケートは以上です。
回答用紙のみ、返信用封筒に入れてお送りください。
ご協力ありがとうございました。